

合言葉は「組合員が主人公」

仲間づくりを職場で広げよう

この秋の組織・共済拡大月間（10月～12月）の成功に向け、「組合員が主人公」をテーマに19秋の組織・共済強化拡大交流集会を10月3日に大阪市内で開催し、20単組81人が参加しました。自治労連本部の長坂圭造副委員長長の学習講演と、大阪府職労の小松康則執行委員長より特別報告を受け、拡大月間をスタートさせました。

愛知での経験を熱く語る
自治労連の長坂副委員長



職場の要求をつかむ 労働組合の 原則的な活動を

長坂副委員長は、愛知で実践してきた「職場活動、日常活動の活性化の取り組み」を、具体例を交えて話されました。ポイントは「原則的な活動」として、機関会議（執行委員会）を工夫しながらキチンと開催することが必要。出席率をあげ、職場の実態・組合員の要求をつかむこと、取り組みの課題を明らかにし、具体化すること、記録をとり、機関紙などで組合員へ発信することの重要性も語られました。また、組織強化の基本と

なるネットワークづくりに力を入れ、役員の仲間をふやす手立てが紹介されました。参加者からは「職場に根ざした地道な活動をきっちりこなし、いく大切さがわかった」「原点に立ち返ってがんばりたい」などの感想が寄せられました。

基本的なことを 新しい形で学び 役員や組合員が元気に

大阪府職労の小松委員長は、「組合員も役員も！みんなが元気になる労働組合活動をめざして」と題して、府職労がかかえてきた困難や、職



COでの学びと実践を語る
大阪府職労の小松委員長

場の深刻な実態に直面し、問題意識の共有と試行錯誤の中でCO（コミュニティー・オーガナイズング）に出会い、見よう見まねで集会や執行委員会、定期大会で実践してきたことを紹介。ベテラン役員任せの活動ではなく、組合員一人ひとりに依拠し、力を引き出す組合活動をしたいという思いが、COでの学びと実践の活用を経て大きな変化のきっかけとなることが語られました。

参加者からは、「意欲的に取り組む」という思いに一人でも多くの組合員・役員になってももらえるよう、どのような仕掛けが必要かを考えさせられた」「ワークショップに参加してみたい」などの感想が寄せられました。

秋の拡大月間（10月～12月）で 職場の仲間 「組合」に入つての声を

改めて日常活動をふり返り、組合員の結びつきを強めるための学習・対話・共済活動に取り組み、職場に労働組合の姿を見せて、組合員が主人公の仲間づくりをすすめていきたいと思います。

「地区防災計画ガイドライン」 ってどんなもの？

激甚化する 大災害にいかに備えるか

9月20日、大阪自治労連を含む防災まちづくり研究会（PARTIV）は、地区防災計画についての学習会を大阪市内で行いました。

講師の内閣府「地区防災計画」の制度検討にかかわった（株）地域計画建築研究所の清水紀行さんは、幾度となく襲う大規模地震や、大型台風などの特徴と、今後予測される南海トラフ大地震や豪雨災害の危険性を説明し、防災まちづくりの必要性を訴えました。



講師の清水紀行さん

地域コミュニティづくり 地域防災力の強化を

そして、「阪神・淡路大震災では、救出された人の8割が家族や近所の住民等によるもので、この間の災害でも地域のつながりの大切さが明らかになっている。地区防災計画制度は、地区の特性に応じて、地域コミュニティが主体となつて継続的に地域防災力の向上をはかることが大切」とし、その後、海抜の低い地域や1000人以上が居住するマンションでの地区防災計画が紹介され、参加者からは好評でした。

最後に防災まちづくり研究会の中山徹代表（奈良女子大学教授）は、「地域コミュニティをつくり防災力を高めるのに自治体がかかわるのか」の検討を示唆されました。



ソフィアステイシアの自主防災組織
1000人規模のマンションの避難訓練の様子

防災力を高めるために 自治体はどうかかわっていくのか

「たたかい学び、学びたたかう」——単組の取り組み

岸和田市職労 新役員学習会



9月6日、若手や新任役員が増える中、全機関の役員に呼びかけ新役員学習会を開催。大阪自治労連仁木執行委員の「地域や職場に労働組合・自治労連がある意味を考える」と題した講演で、よりよい職場・働き方・自治体について学びました。

大阪市労組 第58回定期大会



9月15日に定期大会を開催し、この先1年間の方針を討議し、確認しました。大会では、グループ討論の時間もと、職場と地域に根ざした楽しい労働組合運動を、組合員みんなで取り組み、仲間の連帯を広げようと話し合いました。

枚方市職労 会計年度任用職員制度 問題学習会



10月2日、昼休みの時間に開催した第1部には55人が参加し、机が足りなくなり、夜の第2部・第3部と合わせて、113人が参加し、組合未加入者が49人と改めて関心の高さを感じました。引き続き要求実現にむけて取り組みます。

今月のキーワード

どんぐり虫

この季節、公園や道端にどんぐりがおちていて、コロコロと大きいものは、小さい子どもはもちろん、大人でもつい拾って持ち帰ることがありませんか？しばらく置いておくと白い幼虫が出てくることがあります。多くがゾウムシの仲間です。どんぐりがまだ青くてやわらかいうちに穴をあけ卵を産み、卵からかえった幼虫は、どんぐりの中身を食べて成長し、秋に地面に落ちたどんぐりから出て、土にもぐってさなぎになって冬を越します。どんぐりコマやどんぐり笛、飾り物にする時は、中の虫には気の毒ですが「冷凍庫で1週間」「鍋で煮る」「レンジでチン」など下処理をすれば大丈夫です。

今月のキーワード

CO（コミュニティー・オーガナイズング）

市民の力で自分たちの社会を変えていくための方法であり考え方です。オーガナイズングとは、人々と関係をつくり、物語を語り立ち向かう勇気を得て、人々の資源をパワーに変える戦略をもってアクションをおこし、広がりのある組織をつくり上げていくことで社会に変化をおこすことです。そして、普通の市民が立ち上がり、それぞれが持っている力を結集して、コミュニティの力で社会の仕組みを変えていくのがCOです。市民主導で政府、企業などさまざまな関係者を巻き込みながら、自分たちのコミュニティを根本からよくすることをめざしています。